

教科の目標

◆実践的・体験的な学習活動を通して生活に必要な衣食住に関する基礎的な知識及び技能を習得する。
また、家族・家庭の機能についても理解を深める。

◆実践的・体験的な学習を通して、基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

評価の観点・方法

【評価の観点】

- 生活や技術についての知識及び理解
- 生活や技術についての思考・判断・表現
- 生活や技術についての主体的に学習に取り組む態度

【評価の方法】

- ・製作物による評価
- ・レポートに記載されている内容
- ・実技テストによる評価
- ・ポートフォリオを活用した評価
- ・ペーパーテスト・質問紙を利用した評価

特色ある学習方法

・衣食住やものづくりなどに関する実践的・体験的な活動を行う。

・自ら課題を見だし、解決を図る問題解決学習の充実を図る。

・家庭、地域社会との連携や生涯学習の視点を踏まえつつ、学習内容を考える。

・学んだことを生活や社会の中で生かすことができるよう題材を設定する。

	学習すること	学習のねらい
技術	<ul style="list-style-type: none"> ○技術分野のガイダンス ○材料と加工の技術の原理・法則としくみ ○材料と加工の技術による問題解決 ○社会の発達と材料と加工の技術 ○情報の技術の原理・法則としくみ ○双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決 	<ul style="list-style-type: none"> ○技術の役割を考える。 ○組織、加工法、利用法構想の表示方法を知る。 ○等角図で製作図をかくことができる。 ○製作の手順・方法を理解し、設計に基づいて、製作品をねばり強く仕上げることができる。 ○コンピュータの基本操作と機能がわかる。 ○プログラムの製作ができる。
家庭科	<ul style="list-style-type: none"> ○食生活を見つめよう <ul style="list-style-type: none"> ・食事の役割 ・栄養素の働き ・中学生の時期の栄養素の特徴 ・食品の栄養的特質 ・簡単な日常食の調理 ○郷土料理の味と食文化を守ろう <ul style="list-style-type: none"> ・地域の伝統的な行事食 ○住まいを見つめよう <ul style="list-style-type: none"> ・自分と住まいとの関わりを考えよう ・幼児や高齢者に優しい住まい 	<ul style="list-style-type: none"> ○日常の食生活と関連づけて中学生の時期の栄養に関する知識を理解する。 ○食生活を点検し課題を見付け、一日分の献立が立てられるようにする。 ○調理実習は、基礎的な調理操作を学習し、身につける。 ○地域の伝統的な行事食や郷土料理を調べ、自分の食生活を振り返る。 ○住まいの役割と基本的な機能について理解する。 ○健康で快適な室内環境の条件を知り、改善方法を考える。 ○家庭内事故や災害への備えについて知り、安全に住むための方法を考える。

教科の目標

◆実践的・体験的な学習活動を通して生活に必要な衣食住に関する基礎的な知識及び技能を習得する。
また、家族・家庭の機能についても理解を深める。

◆実践的・体験的な学習を通して、基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

評価の観点・方法

【評価の観点】

- 生活や技術についての知識及び理解
- 生活や技術についての思考・判断・表現
- 生活や技術についての主体的に学習に取り組む態度

【評価の方法】

- ・製作物による評価
- ・レポートに記載されている内容
- ・実技テストによる評価
- ・ポートフォリオを活用した評価
- ・ペーパーテスト・質問紙を利用した評価

特色ある学習方法

・衣食住やものづくりなどに関する実践的・体験的な活動を行う。

・自ら課題を見だし、解決を図る問題解決学習の充実を図る。

・家庭、地域社会との連携や生涯学習の視点を踏まえつつ、学習内容を考える。

・学んだことを生活や社会の中で生かすことができるよう題材を設定する。

	学習すること	学習のねらい
技術	<ul style="list-style-type: none"> ○エネルギー変換の技術の原理・法則としくみ ○エネルギー変換の技術による問題解決 ○社会の発展とエネルギー変換の技術 ○生物育成の技術の原理・法則としくみ ○生物育成の技術による問題解決 ○社会の発展と生物育成の技術 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活の中での電気の利用形態、発電の仕組みとその特徴、及び社会への影響を理解する。 ○かんたんな電気回路を製作し、その方法や工具への認識を深め、電気エネルギーの利用についての理解を深める。 ○生物育成に適する条件と管理する方法を知る。 ○問題の発見・課題の設定を行う。 ○生物育成に関する技術の適切な評価・改善・修正について考える。
家庭科	<ul style="list-style-type: none"> ○衣食住の学びに関するガイダンス ○目的にあった服を選ぼう ○手入れ名人になろう ○賢い消費者になろう 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活と家庭のはたらきについてつながりを考える。 ○衣食と社会生活の関わりを知り、日常着の計画的な活用と選択、手入れと補修のしかたを理解する。 ○布を使った製作の計画を立て製作が出来るようにする。 ○商品を適切に選択、購入する方法について考える。

教科の目標

◆実践的・体験的な学習活動を通して生活に必要な衣食住に関する基礎的な知識及び技能を習得する。
また、家族・家庭の機能についても理解を深める。

◆実践的・体験的な学習を通して、基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

評価の観点・方法

【評価の観点】

- 生活や技術についての知識及び理解
- 生活や技術についての思考・判断・表現
- 生活や技術についての主体的に学習に取り組む態度

【評価の方法】

- ・製作物による評価
- ・レポートに記載されている内容
- ・実技テストによる評価
- ・ポートフォリオを活用した評価
- ・ペーパーテスト・質問紙を利用した評価

特色ある学習方法

・衣食住やものづくりなどに関する実践的・体験的な活動を行う。

・自ら課題を見だし、解決を図る問題解決学習の充実を図る。

・家庭、地域社会との連携や生涯学習の視点を踏まえつつ、学習内容を考える。

・学んだことを生活や社会の中で生かすことができるよう題材を設定する。

	学習すること	学習のねらい
技術	<ul style="list-style-type: none"> ○プログラミングによる問題解決 <ul style="list-style-type: none"> ・計測・制御とは ・問題の発見 ・課題の設定 ・システムの構想 ・プログラムの制作 ○統合的な問題解決 <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の評価・改善・修正 	<ul style="list-style-type: none"> ○身の回りにある計測・制御システムについて、調べる。 ○発見した問題を解決するための課題を設定する。 ○安全で適切なプログラムの制作と動作の確認を行う。 ○プログラミングによる問題解決を振り返り評価し改善・修正する方法について考える。
家庭科	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭と家族の役割について知ろう。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の成長と家族家庭の関わり ○幼児と遊ぼう <ul style="list-style-type: none"> ・遊びの観察 ・遊び道具と環境 ・遊び道具の製作 ○周囲の人々との関わりを知ろう <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の心身の発達 ・社会性の発達 ・基本的な生活習慣の形成と家族の役割 ○幼児と過ごそう <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の生活に役立つ物の製作 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の成長と家族や家庭生活との関わりを考える。 ○幼児の遊びを観察したり、遊び道具を製作したり、幼児にとっての遊びの役割について考える。 ○幼児の心身の発達の特徴や基本的な生活習慣の重要性を知り、幼児に関わる家族の役割について理解する。 ○遊びや生活への関心を高め課題を設定し、幼児の生活に役立つ物を工夫し製作する。